

平成 24 年 12 月 21 日

知的財産戦略本部
コンテンツ強化専門調査会御中

國領二郎

12 月 25 日の会議につき、大学業務があり出席できず、申し訳ございません。

議題として過去 10 年間の検証があると理解しております。

「知的財産」戦略本部として評価したいのは最終的には評価基準は「財産はどれくらい増えたか？」にすべきではないかと思っています。知財を特許の数などだけではなく、価値まで認識したい。その上で、財産としての「時価総額」を計測して、その増大をはかることが必要だろうと思います。

時価総額を増大させることを考えようとするならば、数を増やすだけでなく、どれくらい活用されているか、という面も要素として入ってきます。量も、利益率も、時価総額のブレークダウンとして認識することができるのだろうと思います。

恐らくは大雑把な推計から始めるしかないのだろうと思いますが、知的財産の時価総額を測ることをご提案します。

以上